

シルバーカー サニーウォーカーSP

〔取扱説明書〕〔保管用〕

この取扱説明書は必ずお読みいただき、大切に保管してください。

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
⚠️ この製品は主として自立歩行できる高齢者が、より安定して歩行できるように補助的に使用するものです。(手すり等の固定したものにつかまらなければ歩行できない人や介助者に手伝ってもらわなければ歩行できない人には適しません。) 使用に適しているかどうか不明な場合、必要に応じて専門家(福祉用具専門相談員、作業療法士、理学療法士等)に相談し購入されることをお勧めします。なお、ご使用になる前に、この説明書の内容をよくお読みいただき、充分ご理解された上、ご使用ください。

目 次

警告事項・・・・・・・・・・	1	ブレーキの調整方法・・・・・・・・	5
注意事項・・・・・・・・・・	1~2	キャスターの操作方法・・・・・・・・	5
各部の名称・・・・・・・・・・	3	腰掛け方・・・・・・・・・・	6
車体のひろげ方・・・・・・・・	4	傘止めバンドの使い方・・・・・・・・	6
車体の折りたたみ方・・・・・・・・	4	故障かなと思ったら・・・・・・・・	6
ハンドルの高さ調節・・・・・・・・	4	保証書・・・・・・・・・・	7
駐車用ストッパの操作方法・・・・・・・・	5	SGマーク・・・・・・・・・・	7
ハンドブレーキの操作方法・・・・・・・・	5		

この取扱説明書に関しまして、ご不明な点やご質問などがありましたら、弊社サービス係、またはご購入販売店までお問い合わせください。

**ご使用にあたっては、体調の状態により危険なこともありますので、
ご自身の体調の状態で使用できるかご判断ください。**

加齢等によって歩行機能が低下してこの製品が合わなくなり危険となる場合があります。
室内や屋外での移動が短距離でも困難になった場合には、この製品は使用しないでください。
また定期的に専門家等にこの製品が適切かどうか相談し確認してください。

転倒や故障の防止のために、下記の事項を必ず守ってください。

⚠ 警告事項 転倒など重大な事故につながる恐れがあります。

- 自動車、バス、電車内、エスカレーターや階段では使用しないでください。
- 雨、雪、凍結等滑りやすいところでは使用しないでください。
- 交通の頻繁なところ、混雑しているところ、および夜間に使用される際は十分注意してください。
- 段差や溝などにつまずくと転倒する恐れがありますので十分注意してください。また段差を斜めに進入することは止めてください。段差の手前では必ず一旦止まり、十分注意して慎重に段差を越えてください。
- 踏切を横断する場合、段差に十分注意してください。特に、警報機が鳴ったときに慌てて転倒したり、車輪が溝にはまるなど、大変危険な場合がありますので、同伴者付き添いのもと横断されることをお勧めします。
- 車体の組み立ておよび調整は確実に行ってください。
- 使用される前に必ず固定用ロックが確実にかかっているか確認をしてください。
固定用ロックがかかっていると車体が折りたたまれる恐れがあり大変危険です。
- 片手で押して使用しないでください。(傘を持ちながら等)
- ハンドルの高さ調節部(左右)が固定されているか確認してください。
- ハンドルに寄りかかったり、荷物を吊るすなど、過度の荷重をかけると、車体のみ前に動き、転倒する恐れがあります。
- 踏み台としては使用しないでください。
- 坂道などの斜面では座らないでください。
- 座面を使用する場合は、必ず駐車用ストッパをかけ、左右両輪に駐車用ストッパがかかっており、車体が動かないことを確認してください。
- 座面以外のところには座らないでください。
- 座面に浅く座らないでください。
- 座面から立ち上がる時は、車体が動かないことを確認してから、ゆっくりと行ってください。
- 乳幼児や子供に操作をさせないでください。また、座面上に立たせないでください。
- 乳幼児や子供の手の届くところに放置しないでください。
- 弊社のサービス員以外の分解・改造はしないでください。

⚠ 注意事項 思わぬケガをする恐れがあります。

※ご使用前に

- 製品各部を点検し、特にハンドブレーキや駐車用ストッパの左右両輪の性能、タイヤおよびブレーキタイヤ押さえの摩耗、押したときのグラつきについては十分確認して使用してください。

※ご使用中には

- 用途以外には使用しないでください。
- 火気の近くでは使用しないでください。
- 砂、泥のあるところ、特に水たまりでは使用しないでください。
- 最大使用者体重は 80kg です。ご使用される方の体重が 80kg 以下の方に限ります。必ずお守りください。
- バッグの載荷重は 2kg です。2kg を超える荷物は載せないでください。
- バッグ以外のところに荷物を載せないでください。
- ハンドルなどに荷物を吊るしたりしないでください。
- 座面に人を乗せたままで押さないでください。
- 乳幼児、子供、動物をバッグ内に乗せないでください。
- 車体の組み立て、折りたたみなどの操作時には乳幼児や子供を近づけないでください。
- 荷物はバッグ内の底部に収納してください。
- バッグ内に荷物を入れたまま、車体の組み立て・折りたたみ操作をしないでください。
- ハンドルとハンドブレーキレバーの間に指を入れたままブレーキ操作をしないでください。
- ハンドブレーキは自動車のブレーキとは構造が違いますので過信しないでください。
- 駐車用ストoppaがかかった状態で車体を押さないでください。
- 車体を折りたたむときは、手をはさまないように注意してください。
- 車体からはなれるときは、必ず駐車用ストoppaをかけてください。

※保管方法とお手入れについて

- 使用後は乾いた布で水分を取り、日陰で乾かしてください。
- バッグの汚れは、柔らかい布で拭いてください。
- 火の近く、高温多湿の場所での保管は避けてください。
- 雨ざらしにしないでください。サビや劣化の原因になります。
- 車体が濡れたときは、乾いた布で拭きとってください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤で車体・バッグを拭かないでください。
- フレームや車輪は砂や泥などの汚れを付けたまま放置せず、必ず落としてください。
- 長期間使用しない場合は、汚れを落として高温多湿の場所は避け、屋内で保管してください。
- 駐車用ストoppaをかけた状態で保管された場合は後輪が凹んでしまう恐れがあります。駐車用ストoppaをかけない状態で車体を折りたたんでも自立できる水平な場所での保管をお勧めします。
- 寒暖の差が激しいところでの保管は、バッグの変色や硬化、車体の劣化、動作不良などの原因となる場合があります。
- 車輪や車体がきしむときは、連結部等に数滴注油してください。注油後、回転および車体の組み立て・折りたたみ操作を 2～3 回くりかえしてください。
- 非常口、消火器、消火栓の前に放置しないでください。
- 定期的に各部（タイヤおよびブレーキなど）の破損、ゆるみ、摩耗などがいないかを保守・点検し、必要に応じて調整または交換をしてください。
- 定期的に各部のカシメ鉋、ネジなどがゆるんでいないかを確認してください。
- 取扱説明書は本体とともに保管してください。

※廃棄について

- 各自治体の指示に従って処分・廃棄してください。

各部の名称

サニーウォーカー SP 中

使用時サイズ:

約 H86 ~ 92 × W48.5 × ①D59・②D58cm

(①はキャスター回転止めレバーを上げた状態)
(②はキャスター回転止めレバーを下げた状態)

収納時サイズ:

約 H65 × W48.5 × ①D35・②D34cm

(①はキャスター回転止めレバーを上げた状態)
(②はキャスター回転止めレバーを下げた状態)

座面高さ: 約 44cm

重量: 約 4.9kg

最大使用者体重: 80kg

バッグ載荷重: 2kg

サニーウォーカー SP 小

使用時サイズ:

約 H79 ~ 85 × W48.5 × ①D59・②D58cm

(①はキャスター回転止めレバーを上げた状態)
(②はキャスター回転止めレバーを下げた状態)

収納時サイズ:

約 H65 × W48.5 × ①D35・②D34cm

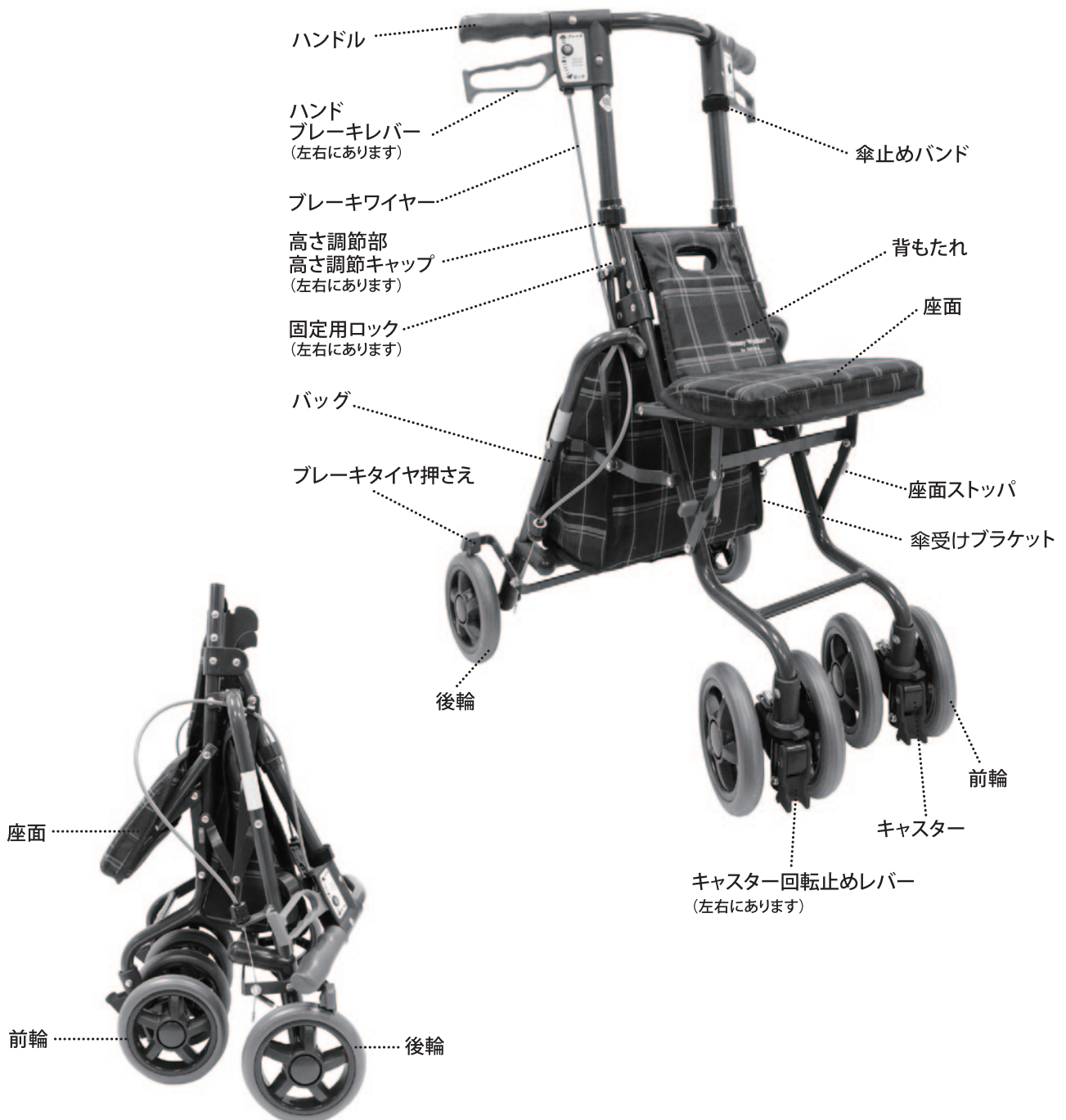
(①はキャスター回転止めレバーを上げた状態)
(②はキャスター回転止めレバーを下げた状態)

座面高さ: 約 44cm

重量: 約 4.8kg

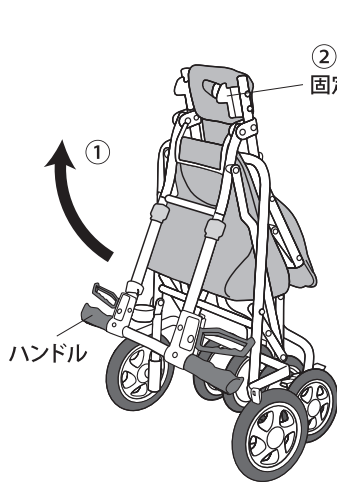
最大使用者体重: 80kg

バッグ載荷重: 2kg

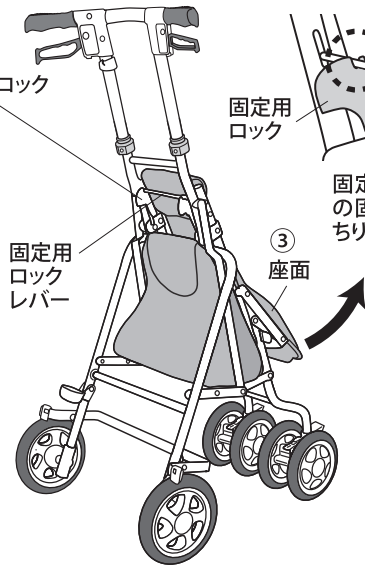


車体のひろげ方

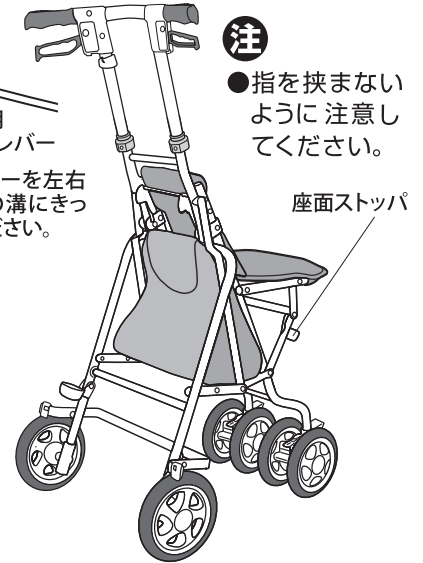
1 ハンドルを持ち、図のように矢印の方向に起こしてください。



2 両側の固定用ロックがカチッと音がして左右両方が確実にかかっているか確認してください。



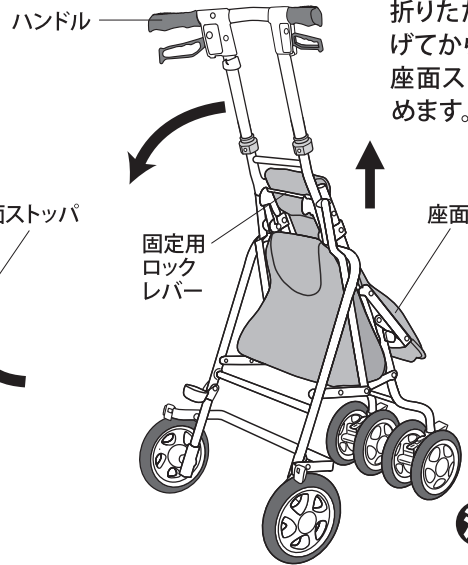
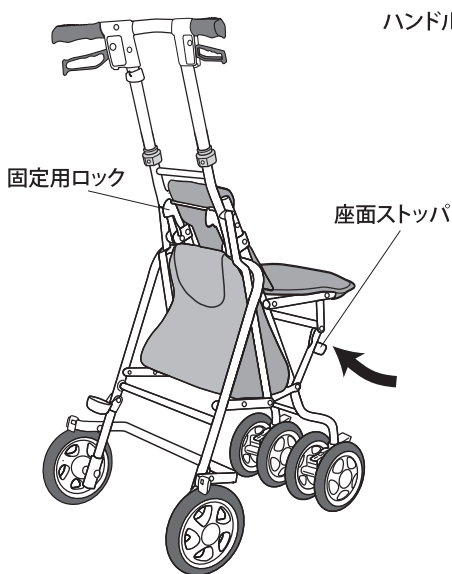
3 座面を矢印の方向に引き上げてください。完全に固定される所まで上げてください。ブレーキワイヤーなどが引っかかり広がらない場合がありますので注意してください。



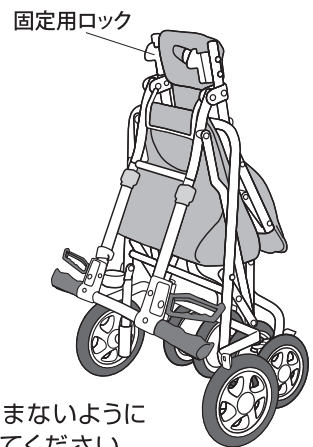
注

● 指を挟まないように注意してください。

車体の折りたたみ方



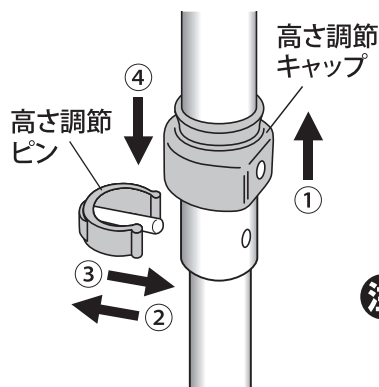
折りたたむときは、固定用ロックレバーを引き上げてからハンドルを後ろへ倒します。座面ストッパを矢印の方向に引くと座面がたためます。



注

● 指を挟まないように注意してください。

ハンドルの高さ調節



1. 左右の高さ調節キャップを上げてください。
2. 高さ調節ピンを抜いてください。
3. 3段階から、お好みの高さに合わせて、左右の高さ調節ピンをしっかりとめこんでください。
4. 左右の高さ調節キャップを元の位置に戻してください。

注

- 左右同じ高さであることを確認して固定してください。
- 高さ調節を行う時、高さ調節ピンが落ちないように注意してください。
- ガタつきがないか確認してください。

駐車用ストップの操作方法

止まる



1. ハンドブレーキレバーを下にさげると、後輪にストップがかかります。

動く



2. ハンドブレーキレバーを上にあげると、駐車用ストップが解除されます。

- 注**
- 駐車用ストップのかかった状態(後輪がロックされた状態)で車体を押さないでください。
 - 座る場合や車体からはなれる場合は、必ず駐車用ストップをかけてください。
 - 構造上、自動車のブレーキのような停止効果はありませんので、坂道などでは腰掛けしないでください。
 - 駐車用ストップのロックを解除する時は、ハンドブレーキレバーのはね返りで指や手をぶつける恐れがありますので十分注意してください。
 - 駐車用ストップを使われる場合は必ず左右両方ともストップをかけてください。

ハンドブレーキの操作方法



分離ブレーキ

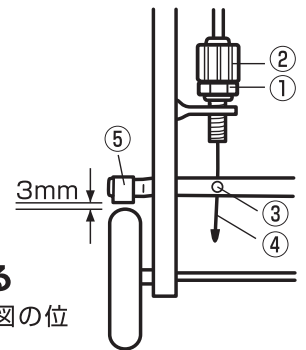
- 警告**
- ハンドブレーキを使用するときは、左右のハンドブレーキを同時にかけてください。片方だけをかけたときに反対側の車輪だけが旋回して転倒する恐れがありますので十分注意してください。

ハンドブレーキレバーを握れば、左右後輪にブレーキがかかります。

- 注**
- ハンドルとハンドブレーキレバーの間に指を入れたまま操作しないでください。
 - ブレーキは構造上、自動車のブレーキのように効かないので過信しないでください。
 - ブレーキワイヤーが折れ曲がったりした場合、ブレーキがききにくくなりますのでブレーキワイヤーの交換をしてください。

ブレーキの調整方法

ブレーキタイヤ押さえと車輪のすき間が 3mm 位になるよう調整します。



■ブレーキをきつくる

②を回して調整し、①を上図の位置に戻してください。

なお不十分なときは、②を最初の状態に戻し、③をゆるめてから⑤を車輪に近づけた状態でワイヤー④を引っ張って、③を締めてください。

■ブレーキをゆるくする

①をゆるめてください。

②を回して調整してください。

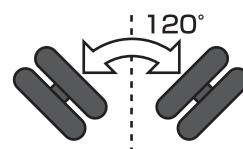
調整が終われば①を締めてください。

キャスターの操作方法

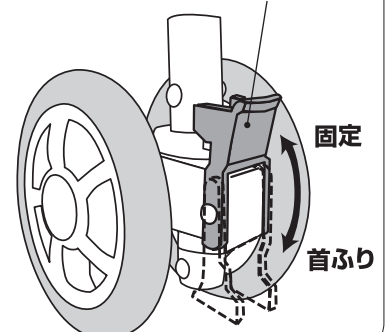
キャスター回転止めレバーを下げると、曲る方向に力を入れれば左右各60°の角度で止まり、力を抜けば直進方向に戻ります。

キャスター回転止めレバーを上げるとロックされます。

- 注**
- キャスター回転止めレバーが左右同じ状態かを確認してください。



キャスター回転止めレバー



腰掛け方

注

- 両側の固定用ロックが正常にかかっているか確認してお座りください。
- 必ず駐車用ストッパをかけてからお座りください。
- 座面ストッパが正確にかかっているかをご確認ください。
- 腰掛けるときは、均等に体重が加わるように座面の中央にお座りください。
- 浅く座ったり、背もたれに力をかけすぎた場合、車体が動いてバランスがくずれの恐れがあります。ご注意ください。
- 坂道など斜面では座らないでください。
- 最大使用者体重は80kgです。体重が80kgを超えられる方はご使用になれません。

ハンド
ブレーキ
レバー



傘止めバンドの使い方

傘止めバンドを外して傘先を傘受けブラケットに入れ、傘止めバンドを傘に巻き、固定してください。

傘止め
バンド

傘受け
ブラケット



故障かなと思ったら・・・

状 況	原 因	対 処 方 法
ハンドルがグラグラと動く	①左右の固定用ロックが確実に かかっていない ②ハンドルの高さ調節部が きちんと固定されていない	①両側の固定用ロックが確実に かかっているか確認してくだ さい ②高さ調節ピンが、穴にきちん とセットされているか、確認 してください
駐車用ストッパまたは ハンドブレーキが効かない	①ブレーキタイヤ押さえの摩耗 ②バネの劣化 ③タイヤの摩耗 ④車輪の破損 ⑤連結部のサビ ⑥ブレーキワイヤーの折れ曲がり	①ブレーキタイヤ押さえの交換 (弊社サービス係へ) ②バネの交換(弊社サービス係 へ) ③車輪の交換(弊社サービス係 へ) ④車輪の交換(弊社サービス係 へ) ⑤注油する ⑥ブレーキワイヤーの交換(弊 社サービス係へ)
キャスターが回転しない	①キャスターの回転軸に、土 や砂が混入 ②バネの劣化	①キャスター(前輪)を手で回 転させて、土や砂を落として から、回転軸のすきまに油を 差してください ②バネの交換(弊社サービス係 へ)
固定用ロックがかからない	①固定用ロック部の変形 ②車体の歪み	弊社サービス係にて製品の修 理または部品の交換を行います
その他、車輪の交換や 車体の破損など		弊社サービス係にて製品の点 検、修理または部品の交換を 行います

万一、破損・異常が発生した場合、または発見した場合は、そのまま使用せずに、弊社の点検・修理を受けてください。

※製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

MADE IN VIETNAM 28.06 SP



株式会社 島製作所

〒547-0001 大阪市平野区加美北3丁目12-5
TEL 06-6793-0991 FAX 06-6793-0992



外袋



説明書